



はままつ中小企業脱炭素経営支援

2026(令和8)年5月12日

浜松地域イノベーション推進機構

1 浜松地域中小企業の抱える脱炭素経営の現状と「3つの壁」

取組むべき背景・メリット

**サプライチェーン維持
(受注機会の確保・創出)**



取引先からのGHG削減要求への対応
受注機会の確保に直結

**コスト削減
生産性向上**



エネルギー価格高騰への対策
最新設備への更新で収益力強化

**企業価値向上
人材の確保**



社会信頼性の向上
社員のモチベーションや優秀な人材の獲得

克服すべき「3つの壁」

1. 経済合理性の壁



投資回収「3～5年以内」という厳しいハードル。環境価値の収益化とコスト軽減の両立。

2. 意識・環境の壁



ティア2以降等への危機感の未到達。要請への静観を打破する「切迫感」の共有。

3. 可視化とアクションの壁



GHG算出の形骸化。現状把握（算出）で止まらず、具体的な削減と投資判断へ繋げる。

2 浜松地域イノベーション推進機構の概要

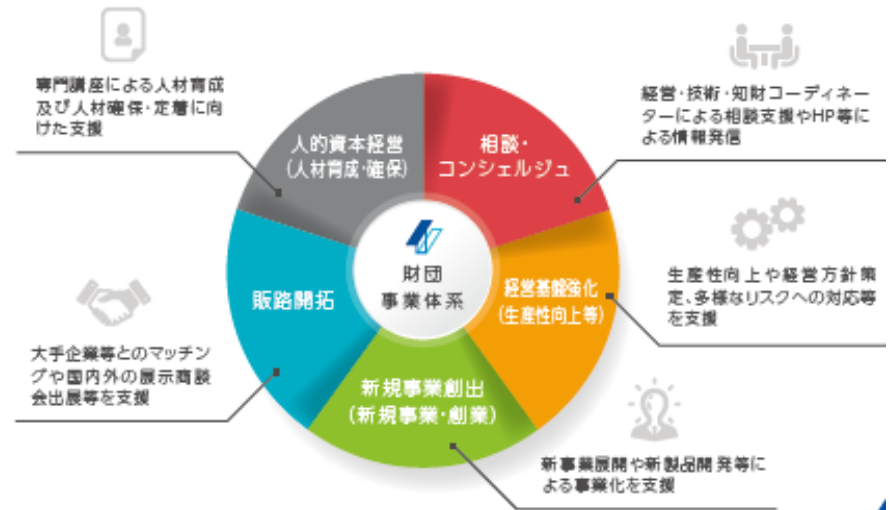
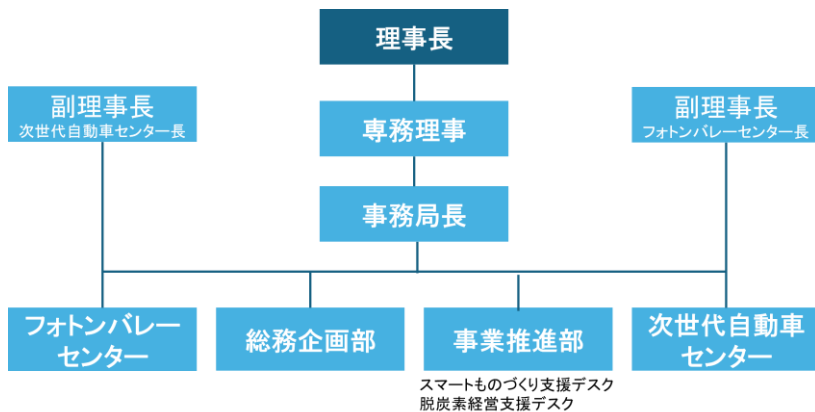
当機構は、国の承認を受けた浜松地域テクノポリス開発計画に基づく、産業支援機関である「財団法人浜松地域テクノポリス推進機構」を母体として、広域市町村合併、政令市化を契機に2012（平成24）年に「**公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構**」として再編、設立された。

【設立】1981（昭和56）年3月

【基本財産】605,700千円（浜松市が71%、静岡県が9.9%、その他19.1%が出捐）

【設置目的】

産学官との交流及び連携のもとに各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、**浜松地域はもとより静岡県の産業経済の発展に寄与すること**



3 浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム（地域支援体制）

「浜松地域脱炭素経営コンソーシアム」

地域企業への脱炭素経営支援を行うことを目的として、浜松市、浜松商工会議所、静岡銀行、浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫、浜松新電力、(公財)浜松地域イノベーション推進機構の7機関で設立



《脱炭素経営支援の実働部隊》

「はままつ脱炭素経営支援デスク」 ※地域企業の脱炭素経営に関する相談窓口

【受付期間】 月～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後5時

【窓 口】 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

【所在地】 浜松市中央区東伊場二丁目7番1号（浜松商工会議所会館8階）

【連絡先】 TEL : 053-489-8111 Email : cn@hai.or.jp

4 はままつ脱炭素経営支援デスク

「**はままつ脱炭素経営支援デスク**」は、2024（令和6）年4月に浜松地域イノベーション推進機構内に設置された相談拠点です。エネルギー管理士等の専門性を有する**脱炭素経営支援員**が、**地域中小企業の脱炭素経営**を、現状把握から実行まで**ワンストップ**で伴走支援します。

【脱炭素経営支援員】



鈴木正法 支援員

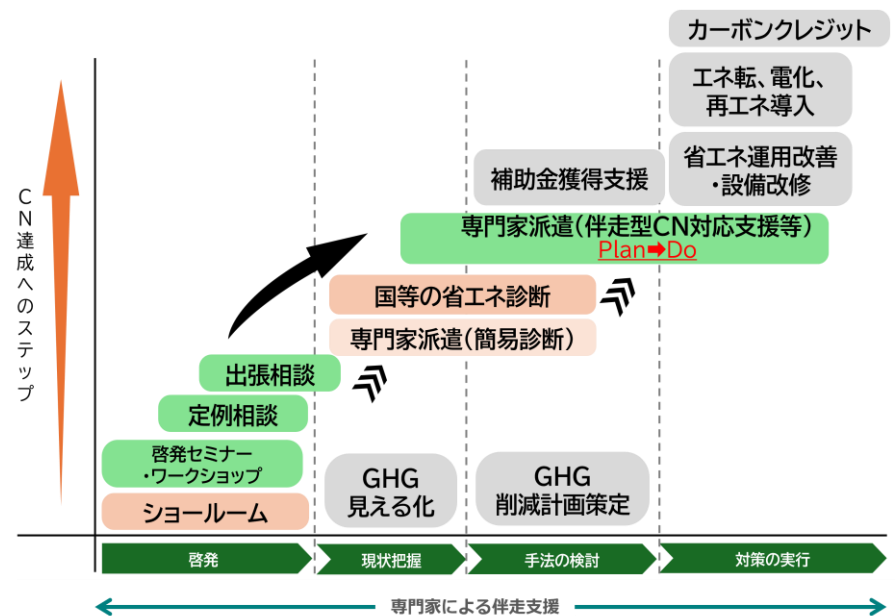
エネルギー管理士、第2種電気主任技術者
市内大手企業の工場にて、電気保安管理業務、エネルギー管理業務、再エネ・省エネの設備導入や、各種補助金活用の企画立案業務および各種法規制対応業務に従事



大貫智也 支援員

エネルギー管理士、第2種電気主任技術者
大手電力会社にて、特別高圧送電線・送電鉄塔の保守保全、建設工事に6年半従事。
その後、大手化粧品メーカーにて工場のエネルギー管理、脱炭素戦略の立案・実行・推進業務に従事

【2026（令和8）年度の支援ステップ】



5 「チーム浜松」による地域支援体制

7機関が連携した「浜松地域脱炭素コンソーシアム」が、「CNカルテ」を共有し、
個社ごとに最適解をワンストップで提供

相談→省エネ診断 → 投資判断 → 資金調達 → 実装(運用改善/設備更新・導入)
までを一気通貫支援

チーム浜松による個社支援

《チーム構成》

イノベ機構：脱炭素経営支援員
機構スタッフ

金融機関スタッフ（メインバンクなど）
+ 浜松市、浜松商工会議所、浜松新電力

《チーム活動》

- ・ チームで伴走支援
- ・ 相談情報の共有 「CN相談カルテ」

《効果》

- ・ **実効性の確保**：資金獲得、融資との連動
- ・ **社会的信頼**：官民一体



6 脱炭素支援員による省エネ簡易診断

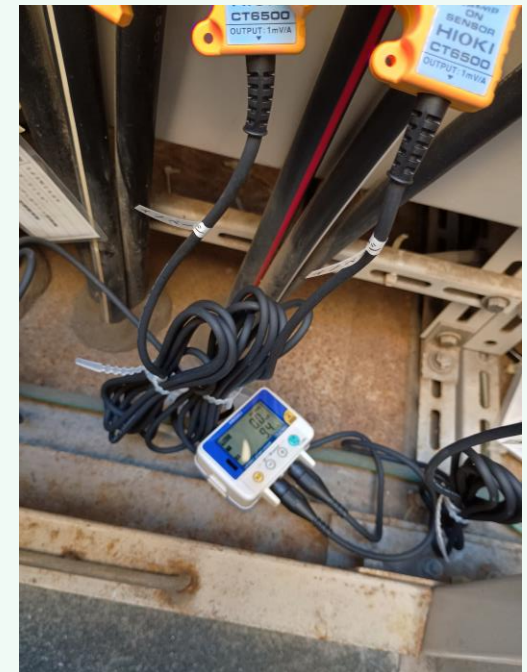
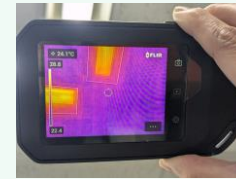
脱炭素経営支援員は、工場の使用電力データ等をヒアリングし、現場を確認後、消費電力を電力測定機器や風速・温度・風量測定機器を設置し、省エネ診断を実施、改善を提案します。

電力ロガー等を活用した省エネ診断

電力ロガー



サーモカメラ



7-1 事例紹介（神谷理研株式会社）

企業概要

名称：神谷理研株式会社 代表者：代表取締役社長 神谷武彦
 設立：昭和41年12月 資本金：2,400万円
 事業概要：各種めっき加工、塗装

重点対策加速化事業

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金
 「オンサイトPPA導入」

名称（所在地）	西テクノ工場（浜松市中央区桜台1丁目8-1）
従業員	70名(令和8年3月現在)
事業所の規模	事務所+工場1棟+ストックヤード 延床面積13,773㎡

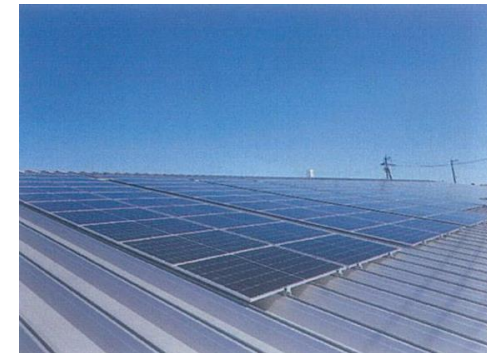
オンサイトPPA導入による再エネ活用（西テクノ工場）

- 太陽光発電 82.17kW：オンサイトPPAで導入
- ・ 発電量 : 94,308kWh/年（工場使用量の約4.5%）
 - ・ CO²削減量 : 29.1t-CO₂/年
 - ・ 効果金額 : 959,239円/年

※直接的な電気使用量及び電気料金の削減のほか、
ピークカット効果あり → 契約電力の見直しが可能

本社および西テクノ工場 2拠点での再エネ導入効果

- ・ 総発電量 : 174,654kWh/年（工場使用量の約4.5%）
- ・ CO₂削減量 : 53.9t-CO₂/年 ・ 効果金額 : **1,566,133円/年**



年間電力コストの評価

2024年度実績

使用量 : 2,216,528 kWh/年
電気料金 : **61,822,314 円/年**
通常電力単価 : 27.90 円/kWh

2025年度実績

使用量 : 2,079,005 kWh/年 (▲6.2%)
電気料金 : **57,943,011 円/年** (▲6.3%) ※A
通常電力単価 : 28.33 円/kWh
PPA込み単価 : 27.87 円/kWh

実態 PPAなしでの試算

使用量 : 2,079,005 kWh/年 (▲6.2%)
電気料金 : **58,902,250 円/年** (▲4.7%) ※B
効果金額 : **959,239 円/年** ※B-A

電力単価上昇局面において、コスト増を抑制

年間電力コスト

■ 電気料金（百万円）



ピークカット効果

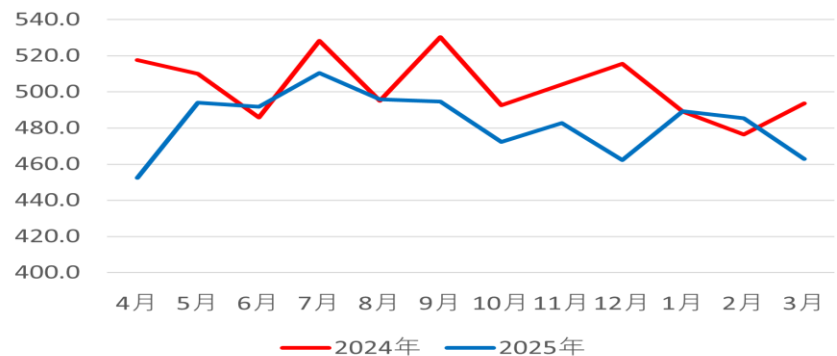
デマンド警報回数（520kW基準）

2024年（7月・9月）：13日間発生
2025年（7月・9月）：ゼロ

最大デマンド電力

2024年(9月) 530.4 kW
2025年(7月) 510.4 kW
→ 契約電力(540kW)見直しの可能性

デマンド最大値



《現場への効果》 ○空調停止などの抑制対応が不要に ○作業環境の改善

8 事例紹介（国本工業株式会社）

企業概要

名称：国本工業株式会社
 代表者：代表取締役社長 国本賢治
 事業概要：自動車部品（パイプ加工品）の製造、金型の設計・製作



国内大手自動車メーカーの自動車部品を製造
 すべての事業所において、**スコープ1, 2のカーボンニュートラルを達成**
スコープ3（トラックでの物流、従業員の出勤時など）の排出削減も検討

■ 2025年実績 **CO2年間排出削減量 1,072t-CO2/年**
 （うちPVによる削減が27%。重点での導入分は5.4%）
電気料金削減額 1,620万円/年

カーボンニュートラルへの取組み

- ・ 太陽光発電設備による電力の自給自足
- ・ CO2フリー電力への切り替え
- ・ BEVなど社用車の電動化
- ・ 省エネ設備への更新
- ・ 生産性の向上による削減
 （自動化、仕様・材料に踏み込んだ改善など）

※CFPも意識



【太陽光発電設備導入実績（510kW）】
 2021年 410kW
 2024年 100kW（重点対策加速化事業活用）
 合計 510kW

自動化による生産性の向上



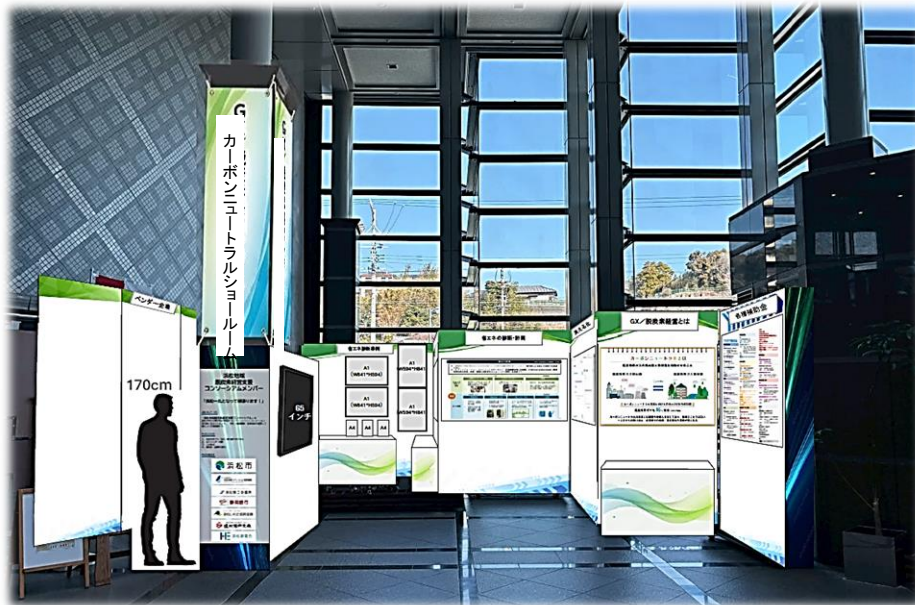
冷却パイプを10,000本
 生産した際のCo2排出量

技術・ソリューション 国本工業の特長

20.6% 削減

9 仮称)カーボンニュートラルショールームの開設(予定)

各種脱炭素経営手法をはじめ、省エネ診断の結果や取り組み事例などを紹介



ショールームイメージ図

2026(令和8)年5月末オープン

GX、CN展示

- ・省エネ、再エネ、エネマネ等の情報展示
- ・実践企業の事例紹介

ワークショップ

- ・企業組合や協会などの単位で実践的な学びの場の提供

ベンダーマッチング

- ・地域企業のソリューション紹介

ショールーム開設(2026年5月末予定)

- 浜松商工会議所会館 1階 ホール
- 展示 8時~21時(開館時)
- 展示(案)
 - ・GX、CNの動向
 - ・脱炭素経営のススメ
 - ・脱炭素経営手法(省エネ、再エネ、エネマネ、Jクレジットなど)
 - ・事例(省エネ診断、運用改善・設備投資など)
 - ・補助金情報
 - ・ベンダー企業紹介

※定期的に展示物を更新

2026(令和8)年度テーマ(予定)
 〈第1弾〉省エネ診断のススメ
 〈第2弾〉削減計画と運用改善・設備投資
 〈第3弾〉再エネ導入、Jクレジット

[参考]

はままつ中小企業脱炭素経営支援

参考 1 動画コンテンツ配信 (省エネのススメ)

中小企業や金融機関等がいつでも、閲覧できるショート動画コンテンツを公開

《動画掲載サイト》 <https://www.hai.or.jp/menu/cn-01/>



省エネ診断のススメ



1-① 省エネ診断・脱炭素対応の必要性(全体像)



1-② 省エネ診断を受ける前の準備とリソース



1-③ 省エネ診断当日の対応(ヒアリング・ウォークスルー)



1-④ 省エネ診断レポートの活用と補助金申請への道筋



1-⑤ 支援機関の役割(はままつ脱炭素経営支援デスク)



支援事例から学ぶ製造時CO2削減案の見つけ方



省エネ補助金の活用方法(金融機関向け)



脱炭素対応への第一歩とその効果(中小企業向け)

解説動画

カーボンニュートラルや省エネ等の取り組みを動画で解説しています。是非ご覧

① 省エネ診断のススメ



①-1 省エネ診断・脱炭素対応の必要性(全体像)



①-2 省エネ診断を置ける前の準備とリリース



浜松地域イノベーション推進機構 HPから

<https://youtu.be/ZajTb5dwP4g>

参考2 動画コンテンツ配信（省エネ診断事例紹介）

2025（令和7）年度に省エネ診断を受けた地域企業の実例をご紹介します。
改善ポイントや導入効果を徹底解説、現場責任者の生の声をお伝えします。



(株)アクト建設



エヌイー(株)



スプラト工業(株)



渥美浜北(株)



(有)見野金型製作所



(社福)初生会
三方ときめきこども園



神谷理研(株)



(株)鳥善 一水庵



(株)八百ひで



浜名漁協製氷工場

⑦神谷理研株式会社



発表資料:神谷理研株式会社

<https://youtu.be/wxXinIdcWYM>

④渥美浜北株式会社



発表資料:渥美浜北株式会社

<https://youtu.be/zlCCKBYE-P0E>

参考3-1 事例紹介（神谷理研株式会社）

企業概要

名称：神谷理研株式会社 代表者：代表取締役社長 神谷武彦
 設立：昭和41年12月 資本金：2,400万円
 事業概要：各種めっき加工、塗装



省エネ診断受診 【事業所概要】

名称（所在地）	本社工場（浜松市中央区上新屋町156番地）
従業員	80名(令和7年4月現在)
事業所の規模	二階建て社屋+工場3棟 延床面積13,028㎡

エネルギー削減ポテンシャル（省エネ診断結果）

	現状	削減量	削減率
原油換算量 [kL]	779.5	11.4	1.5 %
CO2排出量 [t-CO2]	1,456	27.8	1.9 %
エネルギーコスト [千円]	105,631	1,877	1.8 %

削減量内訳：原油換算量(kL)

投資区分	I	II	III	合計
電気	2.5	0	0.1	2.6
燃料・熱	0	8.8	0	8.8

投資区分 I：運用にて実施可能な提案
 II：投資回収年数が5年以下の提案
 III：投資回収年数が5年を超える提案

省エネ診断の結果から見たポイント（提案）

①コンプレッサ吐出圧力低減

【エアブロー設定用レギュレータ】

実施済み



設定圧力が0.5MPaになっている
↓
コンプレッサから一番離れた配管圧力が0.5MPaを下回らない値まで本体の吐出設定を下げる事が可能

コンプレッサ本体の吐出設定値を、生産に支障ない範囲まで圧力を減らすことで、省エネルギー化できる。

【実施した場合の削減量】

投資金額：0千円
省エネルギー量：11,230 kWh
削減金額：317千円/年
投資回収：0年
原油換算量：2.5 kL
CO2削減量：3.8 t-CO2

②蒸気配管・バルブの保温

【未保温部分の熱放散状況】

実施済み



一部の蒸気配管やバルブで、保温施工による熱発散防止を図ることで、省エネルギー化できる。

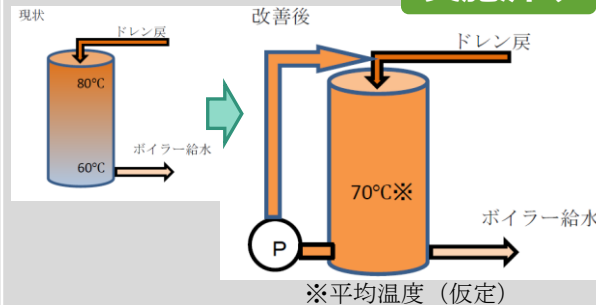
【実施した場合の削減量】

投資金額：400千円
省エネルギー量：5,760 L
(A重油)
削減金額：603千円/年
回収：0.7年
原油換算量：5.8 kL
CO2削減量：15.8 t-CO2

③温水タンク内温度標準化

【給水タンクの改善】

実施済み



ボイラ給水タンクの上部和下部の間で温度差が生じていた。循環ポンプを設置し、燃料使用の削減できる。

【実施した場合の削減量】

投資金額：400千円
省エネルギー量：2,956 L
(A重油)
削減金額：309千円/年
回収：1.3年
原油換算量：3.0 kL
CO2削減量：8.1 t-CO2



参考4 CN相談カルテ

CN相談カルテ

年 月 日

企業名 _____ 様 部署名 _____

担当者名 _____ 様

1. 企業情報

住所	
主たる業種	<input type="checkbox"/> 農林業 <input type="checkbox"/> 漁業 <input type="checkbox"/> 鉱業系 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 製造 <input type="checkbox"/> エネルギー <input type="checkbox"/> 情報通信 <input type="checkbox"/> 運輸 <input type="checkbox"/> 卸売、小売 <input type="checkbox"/> 金融/保険 <input type="checkbox"/> 不動産/物品賃貸 <input type="checkbox"/> 学術研究/専門・技術サービス <input type="checkbox"/> 宿泊/飲食 <input type="checkbox"/> 生活関連/娯楽 <input type="checkbox"/> 教育/学習支援 <input type="checkbox"/> 医療/福祉 <input type="checkbox"/> 複合サービス <input type="checkbox"/> サービス <input type="checkbox"/> 公務 <input type="checkbox"/> その他 ()
主な製品	(自由記載)
従業員数	<input type="checkbox"/> 5人以下 <input type="checkbox"/> 5~10人 <input type="checkbox"/> 10~20人 <input type="checkbox"/> 20~50人 <input type="checkbox"/> 50~100人 <input type="checkbox"/> 100~300人 <input type="checkbox"/> 300人以上

2. 相談・要望内容

相談の動機	<input type="checkbox"/> 自発的にCNに取り組んでいる/取り組みたい <input type="checkbox"/> 取引先から要求されている/される見込み <input type="checkbox"/> 金融機関から紹介を受けた <input type="checkbox"/> 何ができるか関心があった
相談要望	<input type="checkbox"/> 設備を見直したい <input type="checkbox"/> 運用改善でCNしたい <input type="checkbox"/> 何ができるかトータルで知りたい <input type="checkbox"/> 設備を更新したい <input type="checkbox"/> 補助金を紹介してほしい <input type="checkbox"/> とりあえず一度現場を見てもらいたい <input type="checkbox"/> 専門家派遣をしてもらいたい
設備投資等の考え方	<input type="checkbox"/> 可能な限り額を抑えたい <input type="checkbox"/> 少額であるなら可能 <input type="checkbox"/> ある程度の額まで検討可能 <input type="checkbox"/> 特に上限なし <input type="checkbox"/> その他 ()
投資回収期間の考え方	<input type="checkbox"/> 1~2年程度が望ましい <input type="checkbox"/> 5年以内であれば検討できる <input type="checkbox"/> 10年以内であれば検討できる <input type="checkbox"/> その他 ()
見て欲しい施設	<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input type="checkbox"/> 宿泊施設 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input type="checkbox"/> 倉庫 <input type="checkbox"/> その他 ()
特に見て欲しい設備	<input type="checkbox"/> 照明設備 <input type="checkbox"/> 空調設備 <input type="checkbox"/> ボイラー系 <input type="checkbox"/> コンプレッサ <input type="checkbox"/> 給湯器 <input type="checkbox"/> 冷蔵/冷凍設備 <input type="checkbox"/> 工業炉 <input type="checkbox"/> その他生産設備 <input type="checkbox"/> 再エネ等導入可能性 <input type="checkbox"/> その他 ()

5. エネルギーの状況

電気契約	<input type="checkbox"/> 中部電力 <input type="checkbox"/> 浜松新電力 <input type="checkbox"/> その他 () <受電側> <input type="checkbox"/> 低圧(600V以下) <input type="checkbox"/> 高圧(600V~7kV) <input type="checkbox"/> 特別高圧(7kV超)
	<配電側> <input type="checkbox"/> 単相100V <input type="checkbox"/> 単相200V <input type="checkbox"/> 三相200V <input type="checkbox"/> 三相400V <input type="checkbox"/> その他 ()
ガス契約	<input type="checkbox"/> LPガス <input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> 使っていない <使用状況> <input type="checkbox"/> ボイラ <input type="checkbox"/> 乾燥炉 <input type="checkbox"/> 空調 <input type="checkbox"/> 調理 <input type="checkbox"/> その他 ()
石油契約	<input type="checkbox"/> A重油 <input type="checkbox"/> C重油 <input type="checkbox"/> ガソリン <input type="checkbox"/> 軽油 <input type="checkbox"/> 灯油 <input type="checkbox"/> 石炭(コークス) <input type="checkbox"/> 使っていない <使用状況> <input type="checkbox"/> ボイラ <input type="checkbox"/> 乾燥炉 <input type="checkbox"/> 工業炉 <input type="checkbox"/> 空調 <input type="checkbox"/> 発電 <input type="checkbox"/> その他 ()

6. 省エネの取組状況

再エネ導入状況	<input type="checkbox"/> 太陽光発電 ___kW (自家消費 <input type="checkbox"/> FIT(___年目) <input type="checkbox"/> PPA) <input type="checkbox"/> 太陽熱利用 <input type="checkbox"/> 風力 <input type="checkbox"/> バイオマス発電 ___kW (木質 <input type="checkbox"/> バイオガス) <input type="checkbox"/> 系統連系蓄電池 ___kWh (LiB)
省エネ設備導入状況	<input type="checkbox"/> EMS <input type="checkbox"/> コージェネレーション <input type="checkbox"/> 潜熱回収 <input type="checkbox"/> 高効率ボイラー <input type="checkbox"/> 高効率空調 <input type="checkbox"/> 高効率 <input type="checkbox"/> 高効率給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
ソフト面の取組内容	

7. 所有機械設備

熱利用設備	<input type="checkbox"/> ボイラー() <input type="checkbox"/> 熱処理炉() <input type="checkbox"/> コージェネ設備() <input type="checkbox"/> 工業炉 <input type="checkbox"/> スポットクーラー/ヒーター() <input type="checkbox"/> 換気扇() <input type="checkbox"/> 給湯器() <input type="checkbox"/> 冷蔵設備() <input type="checkbox"/> 冷凍設備() <input type="checkbox"/> 工業炉() <input type="checkbox"/> 乾燥炉() <input type="checkbox"/> その他 ()
電気設備	<input type="checkbox"/> 蛍光灯() <input type="checkbox"/> LED灯() <input type="checkbox"/> ハロゲン灯() <input type="checkbox"/> ナット <input type="checkbox"/> メタルハライド灯() <input type="checkbox"/> 白熱電球() <input type="checkbox"/> コンプレッサ() <input type="checkbox"/> ポンプユニット() <input type="checkbox"/> 発電設備() <input type="checkbox"/> 電熱炉() <input type="checkbox"/> 工作機械() <input type="checkbox"/> プレス機械() <input type="checkbox"/> ダイカストマシン() <input type="checkbox"/> 樹脂加工機械() <input type="checkbox"/> その他 ()



浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム はままつ脱炭素経営支援デスク

問い合わせ先：（公財）浜松地域イノベーション推進機構
電話／053-489-8111
E-mail／ cn@hai.or.jp